

2016年度 委員会事業報告書

担当副理事長 澤村知伸
青少年育成委員会 委員長 小山高史

1. 委員会開催日 (14回)

1 / 5	1 / 15	2 / 16	3 / 29	4 / 20	5 / 11	5 / 18
6 / 20	7 / 7	8 / 29	9 / 26	10 / 11	11 / 2	12 / 6

2. 事業報告

- | | |
|------------------|--------------|
| ①例会の担当 | 3月13日・10月22日 |
| ②わんぱく相撲(5月例会)の担当 | 5月28日 |
| ③愛知ブロック大会の担当【大府】 | 9月10日 |
| ④新入会員の拡大 | 通年 |
| ⑤新入会員の育成 | 通年 |

3. 委員会メンバー

小山高史 山守正作 吉田知宏 永坂規明 横井高志 羽根豪一
出向メンバー
藤田哲朗

4. 反省点及び申し送り事項

当委員会では、子どもを育てることは自分自身を成長させることに念頭をおき、親の子育てに対する意識変革を行いました。また、子どもに相撲道から礼儀作法を学び伝え、大きな課題に子どもが自ら率先してチャレンジし、心身共に苦境の耐えることのできる精神力を養えば、最終的に不屈の精神をもった青少年を育成することができると確信して委員会メンバー一丸となり取り組みました。

子どもの成長には親の力が必要不可欠であり、親の成長として親自身の自己肯定感を高めていくことが重要であると考えた上で、非日常体験の中で自らの子育てを振り返って頂き、明日からより良い子育てをする誓いを子どもの眼前で頂きました。その結果として親自身がより良い子育てをするための意識変革を行うことができました。そのうえで、不屈の精神をもった青少年の育成のために、子どもに他者への感謝の気持ちとあきらめない気持ちを持って頂くように導き、何事があってもゆるぐことのない気持ちを育むことが必要でした。

わんぱく相撲の中で、今回は一般ボランティアの方にもご参加頂き、連携して相撲道から子どもたちに学びを伝えましたが、伝える手法に関しては十分とは言えない設えとなりました。相撲道を説く講師から直接子どもに学びが伝わる手法が必要だったと考えますので申し送りとさせていただきます。今回は相撲道を基に、特に他者への感謝の心やあきらめない気持ちを持っていただくために様々な手法を用いました。相撲の勝ち負け、また自らの取組以外の行動に対しても相撲道を通じた設えと学びを与えることができ目的に対する成果が出せたと考えます。一つのテーマのもと目

的を伝える手段とするのは大変有効だと実感しましたので申し送りとさせていただきます。また、設営における一般ボランティアとの連携においては、公開委員会のみならず、本番を想定した上で度重なるシミュレーションを行い、一般ボランティアにも理解して頂き設営することができました。わんぱく相撲での子どもの成長を通して我われも地域の大人たちとして共に成長することができました。

最後の例会では、子どもたちが目の前の大きな課題に難しいと最初からあきらめるのではなく、自分ならできると考えて自ら積極的に挑戦をして頂くことができました。海部津島地域を自らの力のみで縦断したことはこれからの人生において、障壁があった際の困難を跳ね返す力を養えたと考えます。この一年で海部津島地域の子どもが、親の意識変革を始めとして相撲を通して素直な心と謙虚な姿勢を学び、困難を跳ね返す力を養うことで不屈の精神をもった青少年へと成長したと確信いたします。

5. 委員長所見

篠田理事長より、青少年育成委員会の委員長としての大役を与かり、予定者の時から委員会という組織を運営していくことに悩み、副委員長と一緒に協力してなんとか1年を終えることができました。また私自身も、自分の子どもではなく、海部津島地域の子どもを育てることで、親そしてメンバーたちをどのようにしたら成長できるかを考え、様々な本を読み、講演に出かけて勉強をする機会を頂きました。

自己肯定感を高めるにはどうしたら良いのかを委員会メンバーと真剣に議論し、何度もシミュレーションを行い初めての例会に臨みました。流れさえあればなんとかなると思っていきましたが、100名を超える一般参加者の動線や子どもたちの動きやメンバーとの連携が想定していたこととかなりのずれがあり、まさに机上の空論であり例会の運営に対しての準備が足りませんでした。次の例会であるわんぱく相撲ではその反省を生かし、委員会での徹底した打ち合わせと会場でのシミュレーションを幾度となく行いました。またそこにメンバーに来て頂き、何度も個別の役割を伝えることでわんぱく相撲は青少年育成委員会のみが行うのではなく、海部津島青年会議所のメンバー全員が一丸となって取り組まなければいけないという雰囲気作りを行い例会に臨むことができました。その結果、大きなミスもなくメンバー全員が変化に対応しボランティアと協力して安心安全な運営を行って頂きました。

わんぱく相撲の愛知ブロック大会では海部津島代表の6年生が全国大会に行き見事2勝をしてベスト32に入りました。愛知ブロック大会では4位の成績でしたが、神守中学校での相撲連盟の方や中学生に暑い夏の日日に土俵で毎日のように鍛えて頂き、成長する姿を間近で感じることができました。両国国技館で試合前のぶつかり稽古の相手となり、自らの胸でわんぱく力士を受け止めた思い出とあの痛みは生涯忘れることはないと思います。

わんぱく力士も参加いただいた最後の例会では、多くのメンバーが多くの子どもとともに参加して頂きました。子どもの無限の可能性を感じるとともに、海部津島地域の子どもを育てているという実感を得ていただけたと考えます。しかしながら私の巻き込み不足で海部津島青年会議所として今年最後の対外例会にも関わらず、多くの欠席者を出してしまったことは私の不徳のいたすところでもあります。

最後となりますが、青少年を育成するという目的でメンバーの皆様には多大なるご尽力をいただき感謝を申し上げます。また青少年を育成する委員長という貴重な経験をさせていただきました理

事長にも改めて感謝いたします。また、意気地の無い私に、いかなる時も奮い立たせるようなお言葉をおかけいただきました担当副理事長、様々な場面でご協力いただきました会員資質向上委員会の皆様にも感謝申し上げます。そして、ここまで数々のご迷惑をおかけしても、全力で支えていただきました敬愛なる委員会メンバーの皆様にも数えきれないほどのありがとうございましたと感謝をお伝えして、委員長所見とさせていただきます。ありがとうございました。

6. 収 支 決 算

収入の部				支出の部			
予 算		決 算		予 算		決 算	
事業費	0	事業費	0		0		0
合 計	0	合 計	0	合 計	0	合 計	0